

2024 年度 第 2 回 教育課程編成委員会 議事録

開催日：2025 年 3 月 24 日(月) 15:00～16:00

場 所：応接室

出席者：外部委員

委 員 澤村 有利生 社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事

委 員 阿部 誉久 山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長

本校教職員

校長 中川 達也

副校長 河津 道正

教務課長 田中 秀樹

事務長 日當 泰浩

公務員総合学科学科長 青木 敏春

公務員総合学科 1 年担任 田村 天人

1. 会議の目的

- 教育課程の見直しと改編案の共有、就職状況と検定取得の振り返り、次年度への改善提案、学生募集に向けた施策（コース名称変更など）について協議。

2. 教育課程の見直し

- 一部学科において教育課程の改編を進行中。警察・消防・行政の各コースを一体化した統一カリキュラムは人数やコスト面で一定の合理性があったが、今後はより柔軟に再編を検討。
- 2026 年度から専門学校にも大学と同様の単位制が適用予定。800 時間／年から単位ベースへの移行により、検定、ボランティア、外部活動なども単位認定対象となる。

3. 就職・検定状況と課題

- 公務員学科は全員内定を達成するなど好調だが、公務員総合学科においては希望進路と就職先とのミスマッチ、検定合格率の低迷（10%以下）などの課題が浮上。
- 検定については後期授業に位置づけられたが、モチベーションの低下、出席率の低下、検定未受験者の増加が顕著。
- 学生にとって必要性の高い検定を選択して受験できるようにするため、最低2種以上の受験を条件に『検定選択制』の導入を検討中。
- 日商簿記の導入について、税務職員志望者から強いニーズがあり、他の資格と違い就職後にも活用される点が高評価。

4. キャリア教育とマネープラン教育

- キャリアデザイン科目を通じて、卒業後の人生設計・進路選択を支援。将来の職場選びや生活設計を含む実践的教育を導入。
- マネープラン教育は、外部機関（信用保証協会、西京銀行など）によるスポット講義で対応。実社会で役立つ金銭管理や投資に関する知識を身につける機会を提供。
- 詐欺や投資トラブルの実例紹介など、リアルな経験に基づいた授業展開が学生の関心を集めた。
- AI や ICT を活用した効率的な行政業務の習得、公務員試験対策におけるデジタル活用の重要性も指摘。

5. コース名称の変更（学生募集施策）

- 学生が進路を具体的にイメージしやすくするため、コース名称を以下のように変更：
- 『行政コース』→『県庁・市役所・行政コース』
- 『警察消防コース』→『警察・消防・公安コース』
- これにより、自衛隊なども対象に含まれることを明確化し、進路の幅と受験者の理解度向上を狙う。

6. その他の意見・コメント

- AI による議事録作成やデータ分析による政策立案支援など、若年層への実務力教育の重要性が共有された。
- 教育のデジタル化、公務員業務における変革の必要性、専門学校と大学の垣根の撤廃による柔軟な制度設計の可能性についても言及された。
- 今後は、教育に対する社会的ニーズに対応した柔軟なカリキュラム編成と実践力のある人材育成が求められるとの認識で一致。